7・25法大デモへ！

7月25日（水）13時集合
法大市ヶ谷キャンパスにて

7月16日、文化連盟旗を先頭に首都を席巻する全国学生のデモ隊！

キャンパスから原発とめよう！

御用学者許すな！ 不当処分撤回！

７月１６日の代々木公園１７万人をもって、いよいよ私たちの声と行動で野田政権を打倒し原発を止める時代が到来しています。

圧倒的規模の労働者・学生が怒りを爆発させ、直接的な行動に立ち上がっている！ その一方で野田政権と関西電力は大飯原発３号機に続いて４号機も21日から再稼働さようとしている。断じて許すことは出来ない！

法大における不当処分や学祭規制問題も、原発再稼働も根っこは一体の問題だ。弾圧や処分の恫喝で声をあげられない現状をうち破ったとき、突破口は切り開かれる。「フクシマの怒り」先頭に７・１６集会はそのことを示した！ ７・２５法大デモに結集し、キャンパスから声をあげよう！

７月２０日にも首相官邸前で再稼働反対行動が闘われる！

①７･29国会包囲行動 →７月29日(日)16時半～ 日比谷公園中幸門からデモ 19時～国会包囲行動

②７･25法大包囲デモ →７月25日(水)13時～13時半 法政大学市ヶ谷キャンパス正門前を出発

全学連 全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)
TEL 03-3651-4861 http://www.zengakuren.jp/ mail_cn001@zengakuren.jp

当局と癒着する学祭実に５０サークルの「不信任！」

7・13全学説明会で学生の怒り爆発！

７月１３日、学祭の全学説明会が学祭実の主催で行われ、学生から圧倒的な怒りの声が叩きつけられた！

今回の全学説明会で学祭実は飲酒規制など学祭規制８項目を一方的に決定し、これに対して参加サークル２６０のうち５０サークルから「学祭実不信任！」が叩きつけられ、学祭実のあり方に対する疑問や質問が次々と出されたのである！

学祭実は当日、あらかじめこの間「学祭規制反対」を訴え続けてきた社研を全学説明会の場から排除した。社研サークル員はこれに対して３時間にわたって対峙・対決し弾劾の声を叩きつけた！

サークル員の怒りに追いつめられた学祭実は、許しがたいことに社研排除を法大当局によるむき出しの暴力でもって強行している。学祭実と法大当局はがっちりと「スクラム」を組んで社研サークル員の学祭説明会参加を阻止し、法大当局＝教授は「学祭実につめよるのはやめろ」「（社研排除については）手続きをちゃんと踏んでいる」などとその癒着・結託ぶりを隠そうともしない。全説に参加した学生からも「（社研サークル員が）どなったりするのは良くないと思うが、教授のこの態度は明らかに中立じゃない。おかしい。」という声があがっている。

法大当局と完全に一体となって社研排除を行う学祭実！何が「自主」か！

もはや「自主法政祭」の建前を学祭実は完全にかなぐり捨てて、大学の言いなりそのものとなっている。その中で「学祭実はおかしい」という声が圧倒的に広がっている。

４・２５法大デモでさらに怒りの声をあげよう！

国際文化学部３年のアピール

今回の全学説明会の、教授と一体となった反対派学生の排除は、学祭実が大学当局とこれ以上ないほど癒着していることをハッキリと示していると思います。

全学説明会は、承認しなければ学祭ができない場であるし、サークルの代表としてサークル全員の票を背負ってきたので、反対の方もそう簡単に声をあげられる環境ではなかったかもしれないです。

なので、これからが本当の勝負だと思います。出来レースではなく、どんどんみんなで禁酒反対闘争を盛り上げていきましょう。次はあいつらの舞台とは違うような舞台で闘いましょう。

２５日のデモは、その舞台の一つとなると思っています。ぜひ２５日のデモに結集して、やつらの規制をすべて撤廃させましょう。

国際文化学部３年のアピール

みなさん。今年の学祭実はずいぶんふざけた方たちであると言うことは十分認識していると思います。八項目をいきなり突きつけてきて、何の民主的手続きも経ずに、一方的に規制を強化して、社会科学研究会も排除して、、しかも今回の社会科学研究会排除には教授も加わっていました。この構図が明らかにしているのは、学祭実側と大学側が、教授を動員してまで、癒着するような仲になるまで腐敗しきってしまっているということです。

こういった学祭実を承認するのはいかがなものかと自分は思います。みなさんも、だいたいこの間の学祭実の体たらくを見てて、信用に足る連中ではないということはわかっていると思いますので、僕たちが先頭で声をあげていきますので一緒に声をあげてくれたら嬉しいです。

２５日にデモをやるので、大学に不満のある方はどういう意見でもいいので、僕たちと一緒に声をあげていきましょう。デモへの参加を呼びかけます。